

小学校 中 学年＜4－（8）＞

学 年	4年	時 間	学級活動（帰りの会等の短学活を利用） 「地震がおさまっても注意しよう」4年②	時 期	9月（避難訓練 前）or 適時	時 数	20分～25分
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 地震の大きなゆれがおさまった後に起こる危険なことや、注意しなくてはいけないことを知る。 身近にいる大人の指示に従って、大人がいない場合は友達と一緒に、また自分で判断して安全に行動できるようにする。 地震がおさまった後に地域で助け合うことや、自分たちにも手助けができることを知る。 日頃から家族で避難場所や連絡方法、備えについて話しあっておくことの大切さが分かる。 						
資 料・ 準 備	スライド（文科省・防災教育教材「災害から命を守るために」(H20.3)高学年 地震・津波②「地震がおさまっても注意しよう」、ワークシート（文科省CD-ROM内のワークシートの吹き出しの中の文字を切り取ってしまったワークシートを授業者が準備）、鳥取県で起こった地震の被害写真（スライド）、前時の学習後に各家庭で話しあい記録したプリント（児童持参）						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 地震の大きなゆれがおさまった後について学習することを知る。 スライド1ー1～3を提示 または、鳥取県被害写真のスライドを提示 ◇地震のゆれがおさまった後に起こることを考えてみましょう。	○地震の大きなゆれがおさまった後も、余震や火災の発生など危険があることについて、スライドまたは鳥取県のスライド写真を見せて想像させる。 ○スライドの写真もよいが、4ー7のメニュー同様、鳥取県の地震被害の写真の方が身近に起こった地震ということで導入には効果的である。
展 開	2 地震がおさまった後、災害の現場ではどのような状況が起こるか考える。 スライド2を提示 ◇地震がおさまったら、どうするのか前時で学習しましたが、家族と話しあい記入したプリントを確かめてみましょう。 スライド4を提示 ◇地震がおさまった後に、火事が起こることがあります。火事を見つけたらどうしますか。 ・近くの大人に知らせる ・119番に電話する 3 地震がおさまった後、自分たちにどんなことができるか考える。 ◇自分たちにどんなことができるかワークシートに書いてから、グループで話し合いました。	○地震がおさまったら、まず家族同士や友達同士で無事を確認することを指導する。 ○避難場所の確認→ 前時(4ー7)の学習後、各家庭で話しあい記入し持参したプリントを確認する。 ○火災を発見したら大人に知らせることの大切さを指導する。 ○子どもだけで火を消すのは危険であることを強調する。 <社会科と関連> ○学校の設備などを例に、身近にある初期消火の道具について説明する。(消火器、火災報知機など) ○地域の大人が行う初期消火の重要性を説明する。 ○自分たちにどんなことができるか各自ワークシートに書いてからグループで話しあう。 ○グループの代表者に発表させ、全員で共有する。 ☆地震がおさまった後でも、危険なことや注意しなければならないことがあることが理解できたか
ま と め	4 地震がおさまった後の行動で大切なことを確認する。 ◇地震がおさまった後の行動で大切なことはどんなことでしたか。	○余震に対する注意や危険なところには近づかないことを指導する。 ○持参した書き込みプリントで地域の主な避難場所を覚えておくよう指示する。 ○地域で助け合うことや、自分たちにできることがあれば進んで行動することを確認する。 ☆地震がおさまった後でも、安全に行動する必要性が認識できたか。

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	(学級活動)「地震だ！まず自分たちの身を守ろう」、 (短学活)「地震がおさまっても注意しよう」4年① (学校行事) 避難訓練
協 力 団 体	